

感染状況・医療提供体制の分析(12月7日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (11月30日時点)	現在の数値 (12月7日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	総数	11895人 (633.7人)	12166人 (648.2人)	→	レベル4. 感染が拡大しており特別な警戒が必要 新規陽性者は <u>人口10万人当たり648人</u> と横ばい、もしくは微増。医療機関・高齢者施設でのクラスターが多発。 新規陽性者数は、全国的にも増加速度は低下し、横ばい。今後も、社会経済活動の活発化により、感染者数は横ばい、もしくは増加が見込まれる。季節性インフルエンザも増加しており、感染対策継続と同時流行を見据えたワクチン接種などの備えが必要となる。
		60歳以上 (総数に占める割合)	2232人 (19%)	2189人 (18%)	→	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	3929人	3948人	→	
		倉敷市保健所	2892人	3037人	→	
		備前保健所	936人	1020人	→	
		備中保健所	1474人	1628人	→	
		備北保健所	365人	476人	→	
		真庭保健所	510人	537人	→	
		美作保健所	1374人	1174人	↘	
その他	415人	346人	↘			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	269人 (45%)	313人 (52%)	→	レベル4. 体制が逼迫していると思われる	
	④宿泊療養者数	103人	133人	→	入院患者数や自宅・宿泊療養者数は増加。医療機関でのクラスター、また医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、通常医療を制限する医療機関もあり、医療提供体制への負荷が少しずつ増している。	
	⑤自宅療養者数	10758人	11291人	→		
	⑥重症者数	7人	7人	→		